

大学等における修学の支援に関する法律
第7条第1項の確認に係る申請書

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

| | |
|------|------------------------|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構富山病院附属看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄 |

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

| 課程名 | 学科名 | 夜間・通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
|------------------|------|-----------|-----------------------------|-------------------|------|
| 看護専門課程 (看護学科) | 看護学科 | 夜・通信 | 9単位 | 9単位 | |
| | | 夜・通信 | | | |
| | | 夜・通信 | | | |
| | | 夜・通信 | | | |
| (備考) | | | | | |

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

| |
|--|
| ホームページ上で公表 http://www.toyama-hosp.jp/school/ |
|--|

3. 要件を満たすことが困難である学科

| |
|-----------|
| 学科名 |
| (困難である理由) |

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

| | |
|------|------------------------|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構富山病院附属看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄 |

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

| | |
|----|--|
| 名称 | 学校運営会議 |
| 役割 | <p>学校運営の円滑化及び適正化のため、学則に基づき学校運営会議を設置。会議では、多様な意見を反映させるため外部委員を任命し、意見を学校運営に反映させている。</p> <p>主な審議事項は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学校の規程の制定改廃 ② 学校の予算の執行計画 ③ 教育課程の編成に関する事項 ④ 各年度の教育計画に関する事項 ⑤ 学校の講師・実習施の選定に関する事項 ⑥ 学生募集及び入学に関する事項 ⑦ 学生の単位・卒業認定に関する事項 ⑧ 学生の休学、復学、退学に関する事項 ⑨ 転入学者の既習単位等の認定に関する事項 ⑩ 学生の就職に関する事項 ⑪ 学校運営の評価に関する事項 ⑫ 学校の施設整備に関する事項 ⑬ その他学校運営に関し重要と認める事項 |

2. 外部人材である構成員の一覧表

| 前職又は現職 | 任期 | 備考（学校と関連する経歴等） |
|---------|----------------------------|------------------------------|
| 病院 看護部長 | 2019. 4. 1 ～2020. 3. 31 | 看護管理講師として講義を担当 実習施設の看護管理者 |
| 病院 業務班長 | 2019. 4. 1 ～2020. 3. 31 | 特になし |
| (備考) | | |

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

| | |
|------|------------------------|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構富山病院附属看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構 理事長 楠岡 英雄 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

| | |
|---|---|
| 1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 | |
| (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 毎年、7-8月にカリキュラム検討会として、各科目の目的、学習内容、実施時期、評価方法について評価、見直しを実施。 ② 検討会をもとに、12月-1月に次年度授業計画(シラバス)を修正し改定。実習要項においても、当該年度の実習が終了次第、評価し次年度の要綱を見直し策定している。 ③ シラバスには、科目名、目標、単位数・時間数、担当講師、学習内容、方法および評価方法や参考図書等を記載している。 ④ 実習要項においては、実習という学習方法の考え方、科目名、実習目標、実習内容、方法、記録用紙、評価基準について記載している。 ⑤ 上記内容について、「学生便覧」「シラバス」「実習要項」を年度初めの4月ガイダンスで配布し説明している。また、入学生については、保護者会でも概要を説明し、配布している。 | |
| 授業計画書の公表方法 | http://www.toyama-hosp.jp/school/ |
| 2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 | |
| (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ① 授業科目については、筆記試験、レポート、実技試験、授業への参加状況など、あらかじめシラバスで提示した評価方法にて実施。 ② 実技試験は、教員会議で評価項目、評価基準を検討し、シミュレーション等でも確認したうえで、客観的な評価となるようにしている。 ③ 実習においては、実習評価項目ごとに評価基準を設け、評価している。複数教員での実習科目は、情報共有し評価の妥当性について意見交換しながら実施している。 ④ 単位認定については、10月と3月に学校運営会議で認定し、その後すみやかに、本人および保護者に認定状況を通知している。 ⑤ 卒業については、学則の認定要件に則り2月に卒業認定を行っている。 | |

| | |
|--|--|
| <p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>① 各科目、評価内容を点数化し100点満点で評価している。</p> <p>② 評価基準については、学則および履修規定に「80点以上(優)、70点以上(良)、60点以上(可)とし、59点以下を(不可)とする」としている。</p> <p>③ 各科目、学生ごとの平均点を算出し、科目の成績分布、学年全体での成績分布を明確にし、課題のある科目においては、評価方法の妥当性について会議で検討している。</p> | |
| <p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p> | <p>http://www.toyama-hosp.jp/school/</p> |
| <p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1. 当校の学生として「卒業までに目指すこと」として以下の17点をあげている。</p> <p>① 人間・自然・社会に興味関心を持ち、視野を広く持つ</p> <p>② 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解する能力を持つ</p> <p>③ 看護の対象を様々な健康レベル・成長発達段階において理解する</p> <p>④ 科学的根拠および理論に基づいた知識・技術を持つ</p> <p>⑤ 科学的根拠に基づき、看護過程の展開ができる論理的思考能力を持つ</p> <p>⑥ 科学的根拠に基づき、対象の安全・安楽・安心を保障した看護の実践力を持つ</p> <p>⑦ 優れた洞察力と状況判断能力をもち、問題に対する解決能力と実践力を持つ</p> <p>⑧ 医療の高度化・専門化に対し、敏感に情報を得、社会のニーズに対応し得る基盤を持つ</p> <p>⑨ 保健医療福祉チームにおける看護の役割と連携・調整の必要性を認識する</p> <p>⑩ 看護専門職として自主的・主体的に行動する</p> <p>⑪ 様々な対象に対応し得る、コミュニケーション能力・対人関係能力・協調性を身につける</p> <p>⑫ 自己の課題を明確にし、向上心をもって自己研鑽に努める</p> <p>⑬ 看護観をもち、看護の発展に向けて探究心・研究的態度をもち続ける</p> <p>⑭ 人間尊重の精神を基盤とする生命に対する深い畏敬の念と倫理観をもつ</p> <p>⑮ あらゆる立場のすべての人が、かけがえのない存在であると認識し、奉仕の心をもって何事も誠実に実践する</p> <p>⑯ 社会人としての責任感をもち、社会的規範・マナーを身につける</p> <p>⑰ 正しい健康管理を実践し、自己の持つ力を最大限に発揮できるよう整える</p> <p>2. 学則での卒業認定の要件</p> <p>本学校に3年以上在学し、所定の全授業科目の単位習得(101単位 3000時間)の認定を受けた者については、業務基準に基づいて学校運営会議で審議し、学則によって学校長が卒業を認定する。最終学年の終了時において履修認定を受けていない科目があった場合、卒業は認められないこととされている。</p> | |
| <p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p> | <p>http://www.toyama-hosp.jp/school/</p> |

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

| | |
|------|------------------------|
| 学校名 | 独立行政法人国立病院機構富山病院附属看護学校 |
| 設置者名 | 独立行政法人国立病院機構富山病院附属看護学校 |

1. 財務諸表等

| 財務諸表等 | 公表方法 |
|--------------|---|
| 貸借対照表 | http://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |
| 収支計算書又は損益計算書 | http://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |
| 財産目録 | |
| 事業報告書 | http://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |
| 監事による監査報告（書） | http://nho.hosp.go.jp/files/000108720.pdf |

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

| 分野 | | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 | | |
|----------|----|---------------------------|-----------------|----------------|-----------------|-------------|-------------|
| 医療 | | 看護専門課程 | 看護学科 | ○ | | | |
| 修業 年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 | | | | |
| | | | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 3年 | 昼 | 3000時間/101単位 | 1410時間 /64単位 | 375時間 /14単位 | 1215時間 /23単位 | 単位時間 /単位 | 単位時間 /単位 |
| | | | 3000時間/101単位 | | | | |
| 生徒総定員数 | | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | |
| 120人 | | 74人 | 0人 | 9人 | 99人 | 108人 | |

| |
|--|
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要）3年間で履修すべき科目を学びの順序性、基礎から専門、講義から実習へと考慮して設定している。 毎年、カリキュラムを見直し、学生の学びの状況や教授方法などの視点から検討している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要） ① 授業科目については、筆記試験、レポート、実技試験、授業への参加状況など、あらかじめシラバスで提示した評価方法にて実施。 ② 実技試験は、教員会議で評価項目、評価基準を検討し、シミュレーション等でも確認したうえで、客観的な評価となるようにしている。 ③ 実習においては、実習評価項目ごとに評価基準を設け、評価している。複数教員での実習科目は、情報共有し評価の妥当性について意見交換しながら実施している。 ④ 評価内容を点数化し各科目100点満点とし、80点以上【優】、70点以上【良】、60点以上【可】、59点以下を【不可】としている。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要） ① 単位認定については、10月と3月に学校運営会議で認定し、その後すみやかに、本人および保護者に認定状況を通知している。 |

| |
|---|
| ② 卒業については、学則の認定要件に則り 2 月に学校運営会議で卒業認定を行っている。 |
| 学修支援等 |
| (概要) ・入学時オリエンテーションにて学校生活についてのガイダンス ・各学年の学習支援計画に基づき、強化学習および面談を実施 ポートフォリオにて自己の成長と学習の可視化 1 年次：学習方法について 解剖生理学の強化学習 面談 2 年次：目標管理(学習マネジメント) 模擬試験 解剖生理、疾患と治療の理解の強化 面談 3 年次：国家試験対策(模擬試験・個別学習支援) 面談 ・成績低迷者における補助学習支援 ・スクールカウンセラーによるカウンセリングを月 2 回実施 |

| | | | |
|--|--------------|-------------------|-------------|
| 卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載) | | | |
| 卒業生数 | 進学者数 | 就職者数 (自営業を含む。) | その他 |
| 35 人 (100%) | 1 人 (2%) | 34 人 (97%) | 0 人 (%) |
| (主な就職、業界等) 看護師 (国立病院機構、県内公的病院等) | | | |
| (就職指導内容) 2 年次：就職ガイダンス、病院見学などの紹介、個別面談 3 年次：就職活動支援(履歴書の書き方、面接試験対策など)、個別面談 就職関連の情報は、特設掲示板を使用して情報提供、過去の試験状況や募集要項などは場所を設置し学生が閲覧できるようにしている。就職相談は適宜受付対応している。 | | | |
| (主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格 | | | |
| (備考) (任意記載事項) | | | |

| | | |
|--|----------------|-----|
| 中途退学の現状 | | |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 105 人 | 12 人 | 11% |
| (中途退学の主な理由) 進路変更 学業不振 経済的理由 | | |
| (中退防止・中退者支援のための取組) ① 個人面談、保護者との連絡、年間を通しての学習支援などを実施 ② 経済的理由による学業継続が困難な学生には、入学時、中途に関わらず奨学金などの情報提供や学費の支払い方法の相談などを実施 | | |

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

| 学科名 | 入学金 | 授業料 (年間) | その他 | 備考 (任意記載事項) |
|---------------|----------|-------------|-----|---------------------|
| 看護学科 | 50,000 円 | 400,000 円 | 円 | 寮生のみ寮費 24,000 円(年間) |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| | 円 | 円 | 円 | |
| 修学支援 (任意記載事項) | | | | |
| | | | | |

b) 学校評価

| | | |
|--|----|-----|
| 自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.toyama-hosp.jp/school/ | | |
| 学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 教員による、自己点検自己評価(「教育理念・教育目的」「教育目標」…「研究」)結果について、前年度と比較分析する 2. 学生による学校評価(「教育方針」…「管理運営」)を前年度と比較検討する 3. ①②について、学校関係者評価委員会に報告し、評価を受けその結果を学校運営に活用する 4. 学校関係者評価委員会は学校長が委嘱する委員により構成し、毎年3月に委員会を開催する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 審議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 自己点検・自己評価についての年度活動方針の策定及び実施計画の企画・立案に関すること ② 自己点検・自己評価に係わる情報の収集及び提供に関すること ③ 自己点検・自己評価結果の審議に関すること ④ 自己点検・自己評価結果に基づく学校長への提言に関すること ⑤ 自己点検・自己評価結果に基づく改善計画の企画・立案に関すること ⑥ 改善結果の取りまとめに関すること ⑦ 自己点検・自己評価結果及び改善結果の公表に関すること ⑧ 外部評価の実施計画及び外部評価者の選定に関すること ⑨ その他自己点検・評価に関すること 5. 委員会における評価結果は、報告書としてまとめ、学校運営会議にて報告後、ホームページにて公表を行う。 6. 学校関係者評価委員会については、現在体制を整備しており、2020年5月までに評価結果を公表する。 | | |
| 学校関係者評価の委員 | | |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 看護部長 | 1年 | 看護職 |
| 企画班長 | 1年 | 事務職 |

| | | |
|--|----|-----------|
| 同窓会役員 | 1年 | 卒業生 |
| 看護専門学校副学校長 | 1年 | 教育に知見のある者 |
| 学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.toyama-hosp.jp/school/ | | |
| 第三者による学校評価 (任意記載事項) | | |
| | | |

c) 当該学校に係る情報

| |
|--|
| <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>① http://www.toyama-hosp.jp/school/</p> <p>② 学校案内パンフレット (電話、来校または進学支援サイト等から資料請求可能)</p> |
|--|